

問1 15世紀末、ポルトガルが危険な航海を経てアフリカ大陸を大きく回り込むインド航路を開拓しようとした経済的な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. アメリカ大陸で発見された金や銀を安全にヨーロッパへ運ぶため | 2. アフリカ大陸の特産品である絹織物をアジア諸国に輸出するため | 3. キリスト教を広めるため、アフリカ大陸の内陸部へ進出する拠点を築くため | 4. 香辛料をイスラム商人などの仲介なしに直接輸入し、利益を独占するため |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|

問2 戦国大名が実施した「楽市・楽座」の政策において、従来の「座」の特権を廃止した主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|-----------------------------------|----------------------------------|--|
| 1. 新しく城下町にやってきた工商業者の活動を促し、地域の経済を活性化させるため。 | 2. キリスト教の布教を制限し、仏教勢力との結びつきを強めるため。 | 3. 農民が商業に転職することを防ぎ、兵農分離を徹底させるため。 | 4. 特定の商人に独占的な営業権を与えることで、大名への献金額を増やすため。 |
|---|-----------------------------------|----------------------------------|--|

問3 安土桃山時代の外交や社会の動きについて述べた文として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 1. 勘合を用いて明と貿易を行い、銅銭や生糸などを大量に輸入した。 | 2. ポルトガルやスペインとの南蛮貿易により、パンやカステラなどの新しい文化が持ち込まれた。 | 3. 朱印状を与えられた船が東南アジアへ渡航し、各地に日本町が形成された。 | 4. 元軍の襲来を契機として、九州沿岸の警備を強化するために異国警固番役が設置された。 |
|-----------------------------------|--|---------------------------------------|---|

問4 16世紀、ヨーロッパでプロテスタントの勢力が拡大する中、カトリック教会が内部の自己改革を行い、勢力の回復を図るために海外布教を積極的に進めた動きを何といいますか。また、その中心となって日本へもキリスト教を伝えた組織の名称として正しい組み合わせを選びなさい。 (2022年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 対抗宗教改革におけるイエズス会 | 2. 宗教改革におけるプロテスタント | 3. 十字軍におけるテンプル騎士団 | 4. ルネサンスにおけるメディチ家 |
|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|

問5 15世紀以降、地球は丸いという考えに基づいた航路開拓が進む中、カトリック教会がヨーロッパ以外の地域で積極的に布教活動を行った背景として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. プロテスタントの諸国と協力して、世界中に共通のキリスト教義を広めることで、ヨーロッパ内の紛争を解決しようとしたから。 | 2. 十字軍の遠征が失敗に終わり、イスラム勢力に対抗するための軍事同盟をアジアの諸国と結ぶことが急務となったから。 | 3. ルネサンスの影響で科学的知識が普及したため、キリスト教の教えが科学的に正しいことを証明する資料を求めていたから。 | 4. 宗教改革の影響でヨーロッパ内での支持を失いつつあったため、新たな信者を獲得して勢力を立て直そうとしたから。 |
|---|---|---|--|

問6 安土桃山時代の文化において、堺の商人出身であり、織田信長や豊臣秀吉に仕えて「わび茶」の作法を完成させた人物は誰か。 (2021年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|--------|-------|
| 1. 阿国 | 2. 狩野永徳 | 3. 千利休 | 4. 雪舟 |
|-------|---------|--------|-------|

問7 14世紀頃にイタリアの諸都市から始まり、のちにヨーロッパ各地へ広まった、古代ギリシャやローマの文化を復興させようとする動きを何といいますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 啓蒙思想 | 2. 宗教改革 | 3. ルネサンス | 4. 産業革命 |
|---------|---------|----------|---------|

問8 1600年に起こり、徳川家康率いる東軍が石田三成ら西軍に勝利したことで、江戸幕府による全国支配の決定機となった戦いはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 長篠の戦い | 2. 関ヶ原の戦い | 3. 桶狭間の戦い | 4. 本能寺の変 |
|----------|-----------|-----------|----------|

問9 織田信長が天下統一を有利に進めるために行った経済政策について、その具体的な内容と目的の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 関所を廃止して物資の流通をスムーズにし、楽市・楽座によって城下町を活性化させることで、軍事力や経済力を高めようとした。 | 2. 全国の土地の広さや質を調査し、石高によって税を徴収する仕組みを整え、武士と農民の身分をはっきりと分けようとした。 | 3. 地方に守護や地頭を配置して土地管理の権限を与え、荘園の支配権を握ることで、朝廷や貴族に対抗する力を得ようとした。 | 4. 株仲間間の結成を促して商人の特権を保護し、その見返りとして運上金や冥加金を取り立て、幕府の財政を立て直そうとした。 |
|--|---|---|--|

問10 16世紀にドイツのルターらが「聖書に書かれていることのみを信仰のよりどころにすべきだ」と主張して宗教改革を始めましたが、これに対してカトリック教会側がとった行動とその目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. ルターの考えに賛同し、聖書をドイツ語などの各国の言葉に翻訳して普及させた。 | 2. 免罪符（贖宥状）の販売を停止し、キリスト教以外の宗教との共存を目指した。 | 3. 組織の立て直しを図るためにイエズス会を結成し、海外への布教を積極的に行った。 | 4. 教皇の権威を高めるために十字軍を組織し、イスラム勢力から聖地を奪還した。 |
|--|---|---|---|

問11 鎌倉時代に栄西によってもたらされた禅宗（臨済宗）と、安土桃山時代に行われた天正遣欧使節の派遣について、それぞれの背景や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 禅宗は經典の読誦を一切否定したため庶民の間で爆発的に流行し、天正遣欧使節は明との勘合貿易を再開させるための許可を得るために派遣された。 | 2. 禅宗は「南無阿彌陀仏」と唱えるだけで救われると説いたため農民に広まり、天正遣欧使節は江戸幕府による鎖国政策を止めるよう交渉するために派遣された。 | 3. 禅宗は加持祈祷によって現世の利益を追求したため公家に好まれ、天正遣欧使節は鉄砲の大量購入と火薬の原料を確保する契約を結ぶために派遣された。 | 4. 禅宗は厳しい修行を重視したため当時の幕府や武士に受け入れられ、天正遣欧使節は宣教師の勧めにより西洋のキリスト教世界の状況を確認するために派遣された。 |
|--|---|--|---|

問12 1575年、織田信長が大量の鉄砲を組織的に運用し、当時最強と謳われた武田勝頼の騎馬隊を破った戦いを何といいますか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 賤ヶ岳の戦い | 2. 長篠の戦い | 3. 桶狭間の戦い | 4. 関ヶ原の戦い |
|-----------|----------|-----------|-----------|

問13 安土桃山時代、ポルトガルやスペインとの間で行われた貿易と、それに伴ってキリスト教が広まったことに対して、当時の権力者が出した法令の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------|-------------------|---------------------|-----------------------|
| 1. 貿易：朱印船貿易、法令：生類憐みの令 | 2. 貿易：日宋貿易、法令：刀狩令 | 3. 貿易：日明貿易、法令：武家諸法度 | 4. 貿易：南蛮貿易、法令：バテレン追放令 |
|-----------------------|-------------------|---------------------|-----------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 香辛料をイスラム商人などの仲介なしに直接輸入し、利益を独占するため	当時のヨーロッパでは、肉の保存や調味料として不可欠な香辛料（コショウなど）の需要が高まっていました。しかし、それまでの陸路や地中海を経由するルートでは、イスラム勢力やイタリアの都市が仲介して高い利益を得ていました。ポルトガルは海路で直接インドへ向かうことで、これらの仲介を排除し、莫大な富を得ることを狙いました。
問2	答え 1 新しく城下町にやってきた商工業者の活動を促し、地域の経済を活性化させるため。	楽市・楽座の背景には、新興勢力である戦国大名が、旧来の寺社や公家と結びついていた「座」の独占的な支配力を排除したいという意図がありました。商工業者に自由な営業を認めることで、他領からも多くの商人や職人を呼び込み、城下町の繁栄と軍事的な補給能力の向上を図りました。これは単なる慈悲ではなく、大名の領国支配を強化するための合理的な経済戦略でした。
問3	答え 2 ポルトガルやスペインとの南蛮貿易により、パンやカステラなどの新しい文化が持ち込まれた。	安土桃山時代には、九州の港などを中心にポルトガルやスペインとの南蛮貿易が行われ、パンやカステラといった食文化やキリスト教などが日本に伝わりました。
問4	答え 1 対抗宗教改革におけるイエズス会	16世紀のヨーロッパでは、免罪符（贖宥状）の販売などをきっかけにルターやカルヴァンが教会批判を行い、プロテスタントの勢力が急速に拡大しました。これに対抗するため、カトリック教会は内部改革を進めるとともに、新大陸やアジアなどの海外に新たな信者を求める活動を展開しました。この一環として設立されたのがイエズス会であり、フランシスコ・ザビエルなどの宣教師が日本へも来航し、キリスト教が日本に伝えられる背景となりました。
問5	答え 4 宗教改革の影響でヨーロッパ内での支持を失いつつあったため、新たな信者を獲得して勢力を立て直そうとしたから。	宗教改革（対抗宗教改革）の時期、カトリック教会はプロテスタントに奪われた勢力を補うため、大航海時代による地理的知識の拡大を利用して世界規模での布教を試みました。これは、単なる宗教的情熱だけでなく、教会の組織維持や勢力回復という明確な目的を持った組織的な動きでした。
問6	答え 3 千利休	堺の有力な商人であったこの人物は、茶の湯に精神的な深みを持たせた「わび茶」を大成させました。時の権力者である豊臣秀吉の側近としても活躍し、文化面だけでなく政治の世界でも大きな影響力を持っていたことが特徴です。
問7	答え 3 ルネサンス	14世紀のイタリアでは、それまでの神を中心とした中世の考え方に対し、人間中心の生き方を目指す動きが生まれました。この動きは「文芸復興」とも訳され、古代ギリシャやローマの古典文化を理想として、絵画・彫刻・文学など多岐にわたる分野で新しい文化が創造されました。
問8	答え 2 関ヶ原の戦い	豊臣秀吉の死後、次代の主導権を巡って全国の大名が二分されたこの戦いは、「天下分け目の戦い」と呼ばれます。勝利した徳川家康は圧倒的な権力を掌握し、1603年に征夷大將軍となって江戸幕府を開くことで、約260年続く安定した近世国家の体制を築きました。
問9	答え 1 関所を廃止して物資の流通をスムーズにし、楽市・楽座によって城下町を活性化させることで、軍勢力や経済力を高めようとした。	織田信長は、領地内に数多く存在した関所を廃止することで人や物の動きを自由にしました。これと同時に「楽市・楽座」を行うことで、古い特権を持つ「座」の力を抑え、経済を活性化させました。これらの政策は、商人の支持を得るだけでなく、城下町を兵站（物資の補給）の拠点として機能させ、天下統一を推し進める原動力となりました。
問10	答え 3 組織の立て直しを図るためにイエズス会を結成し、海外への布教を積極的に行った。	ルターらによるプロテスタントの動きが広がると、カトリック教会は内部から改革を行い、勢力を回復させる必要に迫られました。その中心となったのがイエズス会であり、彼らはヨーロッパ内での布教だけでなく、アジアなどの海外へキリスト教を広める活動を展開しました。これが後のフランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来にもつながっています。
問11	答え 4 禅宗は厳しい修行を重視したため当時の幕府や武士に受け入れられ、天正遣欧使節は宣教師の勧めにより西洋のキリスト教世界の状況を確認するために派遣された。	鎌倉時代に宋から伝わった禅宗（臨済宗や曹洞宗）は、自らの修行によって悟りを開こうとする姿勢が、当時の新興勢力であった武士の気風に合い、鎌倉幕府などの保護を受けました。また、天正遣欧使節は、戦国時代のクリシタン大名たちがイエズス会の宣教師ヴァリニャーノの勧めを受け、キリスト教世界の威容に触れるとともに、日本での布教への支援を求める目的などで派遣されました。選択肢にある念仏による救済は浄土宗などの特徴であり、鎖国や鉄砲購入、勘合貿易などはこれら二つの事柄の本来の背景とは異なります。
問12	答え 2 長篠の戦い	織田信長が三河国の長篠城を巡って武田勝頼と戦った出来事です。信長は足輕に鉄砲を持たせて組織的に一斉射撃を行うという新しい戦法を採用し、それまでの個人の武勇を重んじる戦い方から、集団による合理的な戦術へと日本の合戦のあり方を大きく変えました。
問13	答え 4 貿易：南蛮貿易、法令：パテレン追放令	ポルトガルやスペインとの間で行われた貿易は南蛮貿易と呼ばれます。この貿易に伴い宣教師が来日してキリスト教の布教が進みましたが、豊臣秀吉はキリスト教の広まりを警戒してパテレン追放令を出しました。